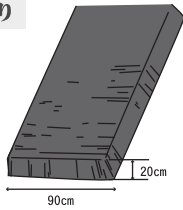


本紙はご自由にお持ち帰り下さい

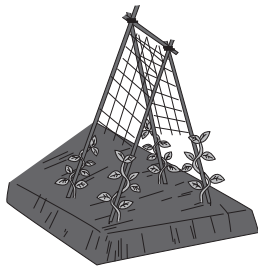
ぬるっぱの上手な作り方

1 土作り



注意！
重金属をよく吸収するので、
汚染された土で栽培しないで下さい。

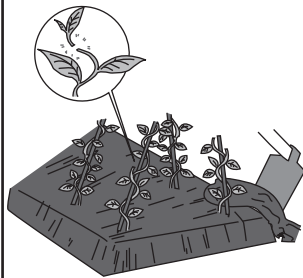
2 定植・支柱



- ①定植の2週間前
苦土石灰をまいてよく耕します。
(1㎡に100g)
- ②定植の1週間前
堆肥と肥料を混ぜてよく耕し、畝を作りませ。
(1㎡に堆肥3L・肥料100g)

- ③4月下旬以降、霜の心配がなくなってからが植えどきです。
- ④草丈が20cmくらいになったら、つるを支えるための支柱を立てます。つるは旺盛に伸びるので、支柱は2M以上の長めのものを選びます。

3 摘芯・追肥



- ⑤本葉が5～6枚になったときに摘芯すると、わき芽がよく伸びます。
- ⑥液体肥料か化成肥料を、月2回程度の割合で施します。

4 収穫



- ⑦草丈が2mほどになったら、つる先を収穫します。葉だけでなく、茎やむかご・根拠も食べられます。
- ※食べ方は裏面をご覧ください。

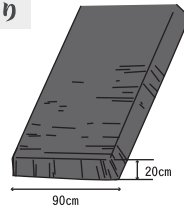
野菜の育て方3-3



本紙はご自由にお持ち帰り下さい

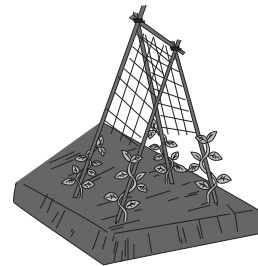
ぬるっぱの上手な作り方

1 土作り



注意！
重金属をよく吸収するので、
汚染された土で栽培しないで下さい。

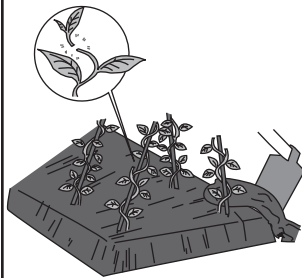
2 定植・支柱



- ①定植の2週間前
苦土石灰をまいてよく耕します。
(1㎡に100g)
- ②定植の1週間前
堆肥と肥料を混ぜてよく耕し、畝を作りませ。
(1㎡に堆肥3L・肥料100g)

- ③4月下旬以降、霜の心配がなくなってからが植えどきです。
- ④草丈が20cmくらいになったら、つるを支えるための支柱を立てます。つるは旺盛に伸びるので、支柱は2M以上の長めのものを選びます。

3 摘芯・追肥



- ⑤本葉が5～6枚になったときに摘芯すると、わき芽がよく伸びます。
- ⑥液体肥料か化成肥料を、月2回程度の割合で施します。

4 収穫



- ⑦草丈が2mほどになったら、つる先を収穫します。葉だけでなく、茎やむかご・根拠も食べられます。
- ※食べ方は裏面をご覧ください。

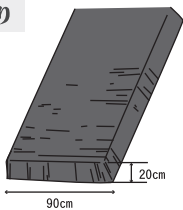
野菜の育て方3-3



本紙はご自由にお持ち帰り下さい

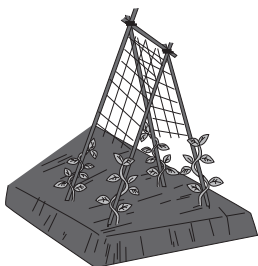
ぬるっぱの上手な作り方

1 土作り



注意！
重金属をよく吸収するので、
汚染された土で栽培しないで下さい。

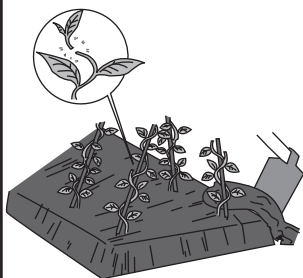
2 定植・支柱



- ①定植の2週間前
苦土石灰をまいてよく耕します。
(1㎡に100g)
- ②定植の1週間前
堆肥と肥料を混ぜてよく耕し、畝を作りませ。
(1㎡に堆肥3L・肥料100g)

- ③4月下旬以降、霜の心配がなくなってからが植えどきです。
- ④草丈が20cmくらいになったら、つるを支えるための支柱を立てます。つるは旺盛に伸びるので、支柱は2M以上の長めのものを選びます。

3 摘芯・追肥



- ⑤本葉が5～6枚になったときに摘芯すると、わき芽がよく伸びます。
- ⑥液体肥料か化成肥料を、月2回程度の割合で施します。

4 収穫



- ⑦草丈が2mほどになったら、つる先を収穫します。葉だけでなく、茎やむかご・根拠も食べられます。
- ※食べ方は裏面をご覧ください。

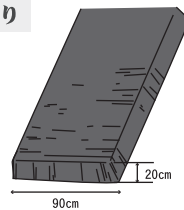
野菜の育て方3-3



本紙はご自由にお持ち帰り下さい

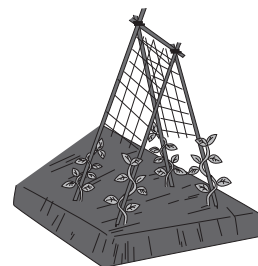
ぬるっぱの上手な作り方

1 土作り



注意！
重金属をよく吸収するので、
汚染された土で栽培しないで下さい。

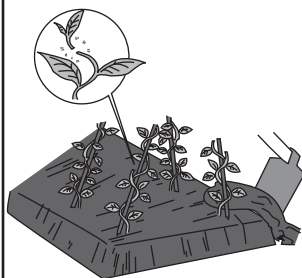
2 定植・支柱



- ①定植の2週間前
苦土石灰をまいてよく耕します。
(1㎡に100g)
- ②定植の1週間前
堆肥と肥料を混ぜてよく耕し、畝を作りませ。
(1㎡に堆肥3L・肥料100g)

- ③4月下旬以降、霜の心配がなくなってからが植えどきです。
- ④草丈が20cmくらいになったら、つるを支えるための支柱を立てます。つるは旺盛に伸びるので、支柱は2M以上の長めのものを選びます。

3 摘芯・追肥



- ⑤本葉が5～6枚になったときに摘芯すると、わき芽がよく伸びます。
- ⑥液体肥料か化成肥料を、月2回程度の割合で施します。

4 収穫



- ⑦草丈が2mほどになったら、つる先を収穫します。葉だけでなく、茎やむかご・根拠も食べられます。
- ※食べ方は裏面をご覧ください。

野菜の育て方3-3



野菜の育て方3-3 ぬるっぱ (表面)